



石橋 新グローバルCEOが語る
チームメイトへの想いと
将来に向けた
ブリヂストンのVision

- 03 特集1
石橋 新グローバルCEOが語る
チームメイトへの想いと
将来に向けたブリヂストンのVision
**ブリヂストンは
新たなチャプターへ。**
- 10 特集2
持続可能な社会を目指して
- 15 十人十色のワークスタイル
——ワークライフバランスの実現
- 16 師匠と弟子
——(株)ブリヂストン
- 18 わが町 わが職場 わが仲間【Season 2】
——三重県
- 21 お客さまの声
- 22 Information
- 25 ありがとうの気持ち
読者プレゼント
ご意見紹介
編集後記
- 26 Health Seed
——感染症対策で私たちができること
- 28 第17回ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール
受賞作品を発表！



Web版Arrowは
お家やスマホでも見られるよ！
ユーザー名：bridgestone
パスワード：arrow



COVER

3月24日付で前任の津谷さんからバトンを託され、
グローバルCEOに就任した石橋さん。ご自身のこと、
そしてブリヂストンへの想いを伺いました。

※社名/役職名/部署名は 2020年5月1日時点のもの。

※本誌は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) が認証した森林からのパルプを配合したFSC認証紙を使用しています。

特集1 石橋 新グローバルCEOが語る チームメイトへの想いと将来に向けたブリヂストンのVision

ブリヂストンは 新たなチャプターへ。

3月24日付で前任の津谷さんからバトンを託され、
ブリヂストングループのグローバルCEOに就任した石橋さん。
今回は石橋さんにご自身のこと、そしてブリヂストンへの想いを伺いました。

はじめに

3月24日付でグローバルCEOに就任した石橋です。創業者からちょうど10代目の経営
トップにあたり、大役を担う責任感から身の引き締まる思いです。

今年に入り、新型コロナウイルスの感染が世界中で拡大し、皆さんの生活や経済に大き
な影響を与えています。当社グループにおいても、足元の需要減少や先行きの市場環境の
不透明性を考慮して世界各地の拠点で一時的に操業を停止したり、「感染しない・させ
ない」ことを徹底するため、オフィスに出勤せずにテレワークに取り組むなどの対応をして
おり、そのようななか、生産や販売の現場で日々のオペレーションをしっかりと回してくれて
いる皆さんに深く感謝しています。

いつになったらこの状況が収まるのか、皆さんも先が見えず不安を抱えていると思います。
まずは、ご自身とご家族の安全・安心を第一に考えて行動してください。「明けない夜はない」
というように、必ずいつかこの状況も落ち着く日がきます。社会のため、お客様のため、チーム
メイトのために何かできることはないか、それぞれが今できることに力を注いでいきましょう。

私もグローバルCEOとして、皆さんとご家族、関係者の生命と安全の確保を第一に、各
地のリーダーと連携して当社グループ事業への影響を最小限にとどめるとともに、このよう
な危機の局面で浮彫になった本質課題の解決および抜本的改革による経営体質の強化
に取り組み、回復期を見据えた準備を進めていきます。皆さんも一人ひとりがこのような観
点を持ち、責任ある行動を徹底するよう改めて強くお願いします。

ブリヂストンはこれまでも多くの困難を乗り越え、必ず強く成長してきた会社です。グ
ループ14万人の力を合わせて、この困難を乗り越えていきましょう。

(株)ブリヂストン 取締役
代表執行役 グローバルCEO **石橋 秀一**

Profile

出身	福岡県出身の久留米市育ち (1954年生まれ) ※石橋ですが、創業家と特別な関係はありません。
趣味	芸術を愛でること (絵画、陶器磁器、ミュージカル、JAZZ、アンティーク)、 歴史探索 (京都、パリ)
座右の銘	熱意と誠意。 「熱意」は自分自身の生きざま。 「誠意」は新入社員の時から大切にしているビジネススタンスです。
経歴	1977年に入社し、米国と日本を中心に、全てのタイヤ、多角化事業を担当。 2012年以降は、グローバルでソリューション事業・直需事業の構築、戦略・ 企画・技術・品質経営・管理業務など幅広く担当。

就任の挨拶

ブリヂストンとの出会い

私のことをまだよく知らない方も多いと思いますので、はじめに少し自分のことをお話ししたいと思います。

私は、ブリヂストンの創業の地である福岡県久留米市で育ちました。当時は小さな田舎町でしたが、創業者の石橋正二郎氏が寄贈された石橋美術館（現久留米市美術館）や石橋文化ホールなどを備えた石橋文化センターがあり、当時から一流の芸術やスポーツとの接点がありました。私が絵画やミュージカル・JAZZを好きになったのも、ブリヂストンの影響だったわけです。

また、10代には創業者が寄贈した高校で学びました。こうして幼い頃から「最高の品質で社会に貢献」という創業者の理念に触れ、いつしかそれが自身のDNAに深く刻み込まれていきました。

新入社員時代

大学卒業後、1977年にブリヂストンに入社しました。広島支店に配属され、お客様のトラック用タイヤを点検するのが最初の仕事でした。タイヤを売って終わりではなく、現場でお客様に寄り添うメンテナンスの仕事を通じて、「お客様にとっての価値は何か」を考えることを学びました。

お客様とブリヂストンの「共存共栄」を目指し誠意一念尽く

すことで、時にはお客様に褒められ、また時には失敗し、ビジネスの楽しさと厳しさを肌で感じることができました。

米国での学び

私はブリヂストンで40年以上働いてきましたが、そのなかで数々の苦難にも直面しました。そして、苦難を乗り越える過程で「誠実さ」と「チームワーク」の大切さを、身をもって学ぶことになりました。米国に赴任していた2000年には、ファイアストーン製タイヤの大規模リコールがあり、倒産しそうなほどの苦境に陥りました。そんな時にお客様が「今までシュウには世話になったから」と自分の損得を考えずに助けてくれました。このような経験が今の私の礎になっています。

これまでのキャリアを通じて、私はさまざまな現場で社会・お客様に直に接し、社会・お客様にとっての「価値」は何かを常に考えてきました。

これからのブリヂストン

今、私たちはかつてない激動の時代を生きています。国際関係、自然災害、気候変動などさまざまな課題が身近なものとしてクローズアップされ、社会の仕組みや経営環境は不安定で大きく変わろうとしています。また、自動車業界は100年に一度と言われる構造変化に直面しています。今年に入り、新型コロナウイルスの感染拡大という世界規模の問題も発生しています。こうした状況においても社会・お客様・パートナーに求められ続けるブリヂストンでありたいと思っています。創業100周年となる2031年、そしてその先の2050年を見据えて、ブリヂストングループ14万人のチームメイトが一丸となって歩みを進め、この変化・危機をチャンスに変えていきたいと思います。

ブリヂストングループのVision 2050年、サステナブルなソリューションカンパニーとして 社会価値・顧客価値を持続的に提供する会社へ

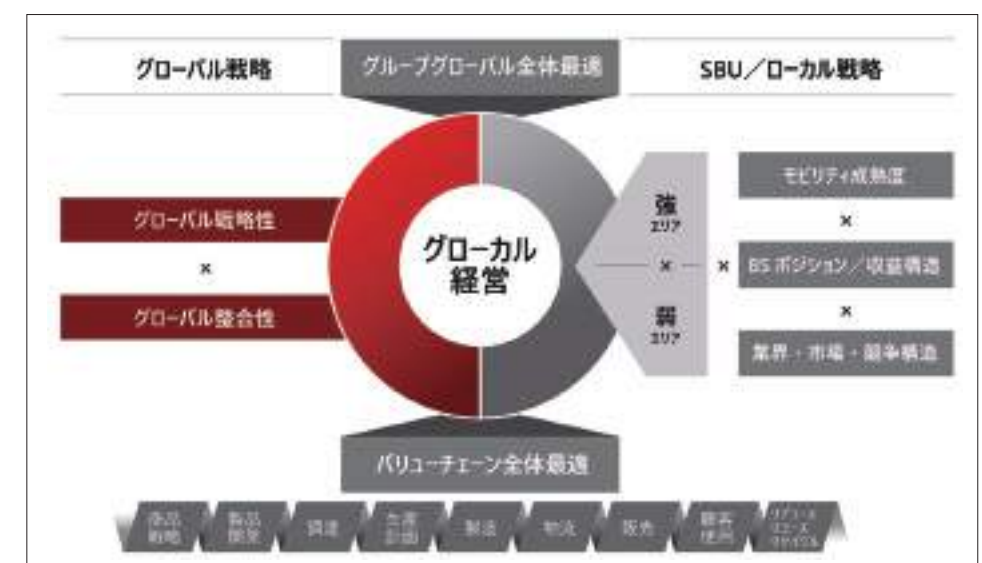
ブリヂストンがサステナブルなソリューションカンパニーとして2050年にも「社会価値・顧客価値を持続的に提供する会社」であり続けること、これが私がグローバルCEOとして思い描く方向性、Visionです。これは「最高の品質で社会に貢献」という創業から変わらぬブリヂストンの使命そのものでもあります。

求められる「価値」は常に変化します。しかし、それはいつも社会・お客様の困りごとを解決することには変わりはありません。社会・お客様をより深く理解し、社会・お客様の抱える困りごと、さらには社会・お客様自身も気づいていない困りごとを解決するソリューション、新たな価値を共に創り提供し続けることで、社会・お客様と共にサステナブルな会社であり続けることがで

きるのです。

このVisionの実現に向けては、「グローバル（グローバル×ローカル）経営」をさらに強化していきます。Global EXCOメンバーを中心としたグローバル経営チームと議論してグローバル戦略を策定し、これをベースに各SBUが地域特性を活かしたSBU／ローカル戦略を構築し実行していく、これが「グローバル経営」の基本的な考え方です。

※Global EXCOとは：ブリヂストンのグローバル経営執行会議体のこと。SBUや事業分野のリーダーで構成されています。
※SBUとは：戦略的事業ユニット（Strategic Business Unit）の略。地域ごとに実際の事業運営を行う事業体のことです。



ブリヂストンの事業戦略 タイヤ・ゴム事業の強みを活かした「ソリューションカンパニー」へ

Visionを実現するためのカギとなるのがブリヂストンの強みである「タイヤ・ゴム事業」と「Bridgestone T&DPaaS (Tire and Diversified Products as a Solution)」をプラットフォームとする「ソリューション事業」です。

全てのベースはタイヤ・ゴム事業

皆さんもご存じの通り、ブリヂストンの強みはタイヤ・ゴム事業です。ブリヂストンの全ての事業戦略のベースとなるのはこのタイヤ・ゴム商品を「創って売る」事業であり、将来に向けてもこれを徹底的に強化していきます。タイヤは命を乗せている、これが私たちの全ての活動の根源であり、私たちの責任であることを忘れてはいけません。

「価値を創造」し、「価値を売る」ソリューションカンパニーへ

しかし、従来のタイヤ・ゴム事業を継続するだけでは、この先も発展し、断トツであり続けるサステナブルな企業にはなりません。

タイヤ事業ではこれまで高品質なタイヤそのものが求められてきました。高品質なタイヤを提供することが、社会・お客様の困りごとを解決することだったのです。しかしながら近年の

MaaSやCASEの世界では、カーシェア等（Shared）の普及によりクルマは所有するものから利用するものへと変わりつつあります。すると、これまでよりも長持ちするタイヤや、効率的なメンテナンスサービスが求められます。また、デジタル技術や自動運転技術の発達に伴ってクルマがあらゆる情報とつながるなか（Connected）、タイヤとクルマ、タイヤと部品、タイヤと道路、タイヤとタイヤがつながり、さらにはシステムとシステムがつながります。“つながる”ことにより新たな価値を創造していくことが重要となります。

タイヤは、自動車部品の中で唯一路面に接しており、“走る”“曲がる”“止まる”といったクルマの基本機能を路面に“伝え”、それを実現する、という重要な役割を担っています。これまでタイヤはあらゆるモビリティ・クルマに装着され、それらを支えてきました。今後はタイヤを中心としたシステムがあらゆるモビリティシステムにつながり、それらを支えることになります。路面と唯一接するタイヤは“つながる”ことでますます重要な役割を果たすことになります。

このように、社会・お客様の困りごと、求められる「価値」は今後さらに変化し、多様化していくことでしょう。ブリヂストンが、これからも社会やお客様に求められ続ける企業であるためには、さまざまな新しい「価値を創造」し、「価値を売る」ソリューション事業へ進化させていく必要があります。

ソリューション事業のプラットフォーム 「Bridgestone T&DPaaS」

先に述べた通り、ブリヂストンの事業戦略のベースとなるのはタイヤ・ゴム事業です。ブリヂストンはタイヤ・ゴム事業において、断トツの商品・断トツのサービス・断トツのサービスネットワークという「リアル」の強みを持っています。「Bridgestone T&DPaaS (Tire and Diversified Products as a Solution)」のプラットフォームで、この「リア



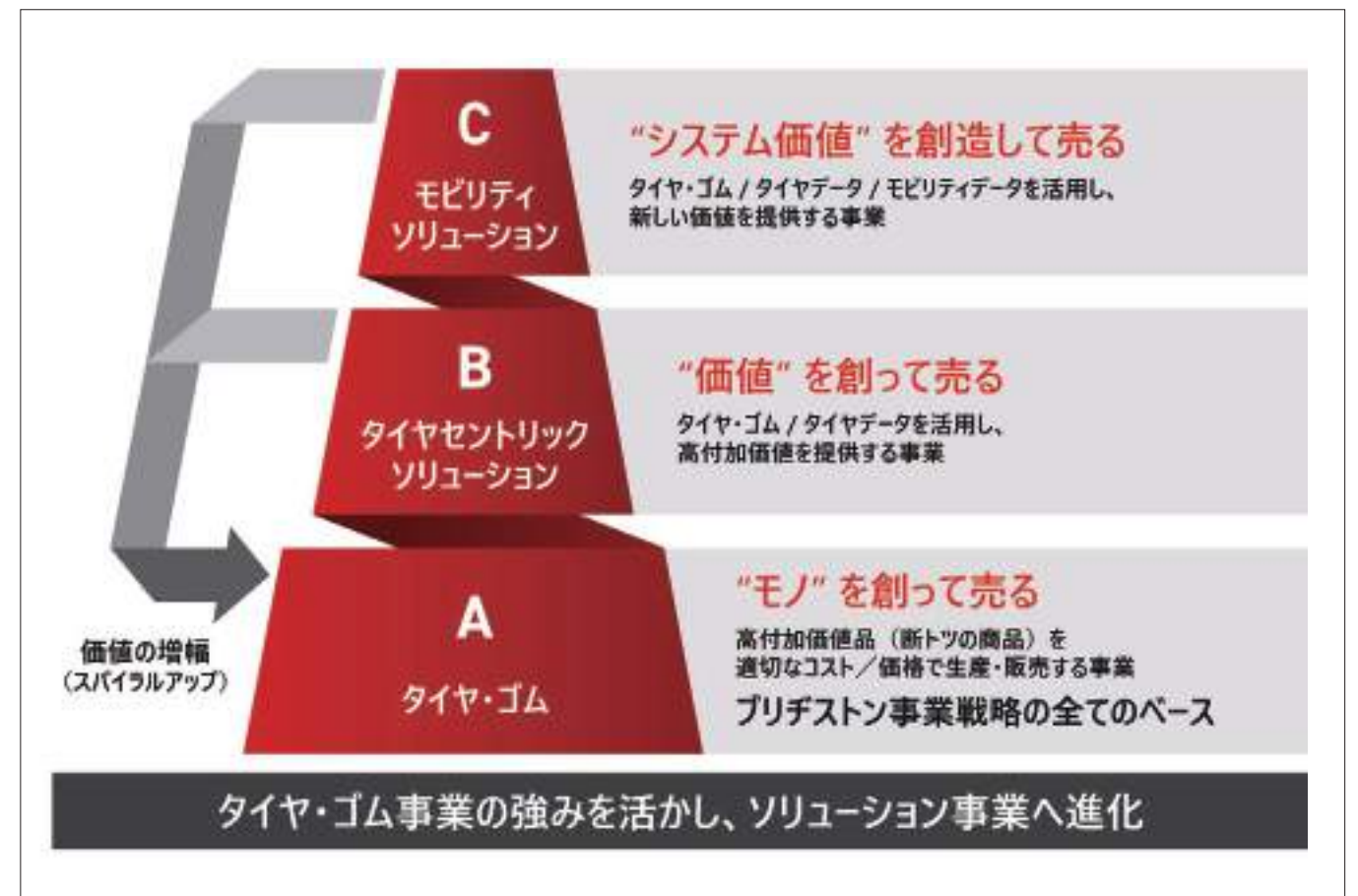
ル」の強みと、昨今目まぐるしく進化する「デジタル」技術を組み合わせ、多様化するあらゆるモビリティシステムと「つながる」ことを可能にします。

ソリューション事業を加速するべく「Bridgestone T&DPaaS」を本格的にグローバルに展開し、ブリヂストンはタイヤ・ゴムの

強みを活かした「ソリューションカンパニー」へと進化していきます。

価値のスパイラルアップで成長し続ける

例えば、鉱山の現場では、人手不足や人件費の高騰などを背景にオペレーションの効率化や無人化が求められています。ブリヂストンでは、車両に装着するタイヤにセンサーを取り付けてタイヤの状態をモニタリングすることで、タイヤメンテナンスや車両運行オペレーションの効率化・最適化に貢献するソリューション事業を展開しています。これからは乗用車やトラック・バスなど他のモビリティにおいても、デジタル技術を活用することで強いタイヤ・ゴム事業をベースに新たな価値を創造し、ソリューションを提供していかなければなりません。さらには、ソリューション事業で得たデータや知見・ノウハウを断トツの商品の開発に生かすなど、タイヤ・ゴム事業をより強くする。このようにスパイラルアップで事業の価値を増幅していく。これが私の描く事業戦略、成長戦略です。



Q & A グローバルCEOに 聞いてみた！

Q 休日の過ごし方を教えてください。

A 絵画に音楽に歴史探索！

時間があるときは美術館に行ったり、音楽を聴いたりして息抜きをしています。
また、旅行に出かけて、歴史ある古い街を歩くことも好きです。



Q 最近読まれた本で興味深かったものを教えてください。

A 『哲学と宗教全史』（出口 治明）、『心。』（稻盛 和夫）
『会計の世界史 イタリア、イギリス、アメリカ——500年の物語』（田中 靖浩）
『スパイス、爆薬、医薬品 世界史を変えた17の化学物質』（ペニー・ルークター／ジェイ・バーレサン 著 小林力 訳）
『ニュータイプの時代 新時代を生き抜く24の思考・行動様式』（山口 周）

Q 人の成長、会社の成長に必要なものは何だと思われますか？

A 一人ひとりが「変える、変わる」ためチャレンジすること

人も会社も成長するためには、失敗を恐れずに変化のためにチャレンジすることが必要です。ブリヂストンはこれまで数々の困難を乗り越え強く成長してきました。これは、困難な状況に適応するために、一人ひとりが、ブリヂストンという会社が変わ革を遂げてきた結果です。

危機に直面した時だけでなく、一人ひとりが新しい未来を自分たちの手で創ろうとチャレンジしてほしいと思います。そしてチャレンジできる環境を整えることが私の役目だと思っています。

Q 若手とリーダー層へそれぞれアドバイスをください。

A 「虫の目」と「鳥の目」を持ってほしい

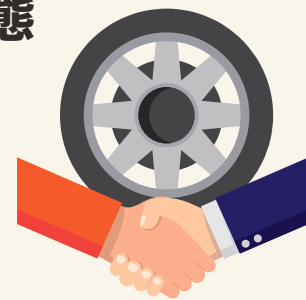
「虫の目」とは、一点を集中して見る、つまり自分の仕事を掘り下げて追及するということです。「鳥の目」とは、周りの状況と自分の立ち位置・役割を俯瞰的に見て、チームとして成果を挙げることです。

どちらか一方ではなく、一人ひとりが「虫の目」と「鳥の目」の両方を持つことが必要です。若手の方であれば、まずは自分の仕事を一生懸命やりつつも課や部の中での役割を考える。リーダーの方であれば、会社やグループの中で自分のチームの果たすべき役割を考えて部下を導くというように、皆さんそれぞれの「虫の目」と「鳥の目」があると思います。

Q 我々が目指すべき断トツとはどのような状態か教えてください。

A 高い「価値」で競争優位性を築いている状態

ブリヂストンだから提供できる「価値」を持続的に提供し、競争優位性を築いている状態です。社会・お客様の求める「価値」は常に変化します。断トツであるためには、第一に社会・お客様を深く、社会・お客様以上に理解し、困りごとを解決するソリューションを持続的に提供すること。さらには、社会・お客様自身も気づいていない困りごとに対して、社会・お客様と一緒に「新しい価値」を共創していくことが求められます。それにより、ブリヂストン独自の競争優位性を築くことができるのです。



Q ブリヂストンの未来のライバルとなる会社はどこでしょうか？

A ライバルもパートナーになるかも

これまでの「モノを創って売る」というビジネスにおいては、タイヤ事業であればライバルはタイヤメーカーというように分かりやすい構図でした。今後、さまざまな商品とサービスを組み合わせたソリューションビジネスを強化していく上では、ビジネスの形態およびライバルもさまざまで複雑になっていくと思っています。全く予想していなかったライバルが現れたり、逆に新たな価値を共創するパートナーとなる可能性もあります。

チームメイトの皆さんへ

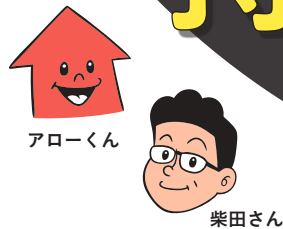
最後に、従業員の皆さんも新型コロナウイルスの感染拡大に日々大きな不安を抱えていることかと思います。冒頭でもお伝えしましたように、まずは皆さんご自身、そしてご家族の健康と安全を第一に行動してください。その上で、社会のため、お客様のため、チームメイトのために、一人ひとりがそれぞれの立場でできることに集中しましょう。

生産に携わる皆さんは、新型コロナウイルスへの不安を抱えながらも製造現場に足を運び、生産を続けてくれています。物流に携わる皆さん、そして卸や小売りの第一線で働く販売の皆さんは、商品やサービスをお客様へご提供することを通じて、人々の生活や社会インフラを支え続けてくれています。そして本社や事務所で働くスタッフ系の皆さんは、オフィスに出勤できないなかでも、テレワークでそれぞれが工夫しながら今できることを模索してくれています。

繰り返になりますが、この困難な状況でも人や物の移動という社会インフラを支える使命を持って、現場で一生懸命仕事を続けてくれているチームメイトに、グローバルCEOとして改めて感謝します。さらには、簡易マスクの自社生産に代表されるように、何か社会のお役に立てることはないか、という視点をもち、皆さんがそれぞれの持ち場でどのように社会に貢献できるかを考え、チャレンジしてくれていることを誇りに思います。私はブリヂストンの経営をあずかる責任者として、皆さんが安心、安全に働くことができる環境を整え、会社を、そして皆さんとご家族の生活を守り抜いていくことを約束します。そして、皆さんとともに、社会・お客様のため、仲間のために目の前の困難にひとつひとつ誠実に対処していけば、私たちは必ずやこの危機を乗り越え、より強いブリヂストンに成長できると信じています。こんな時期だからこそ、笑顔を忘れずに、皆で前を向いていきましょう。



持続可能な社会を目指して



企業の枠を超えてタイヤ業界として、環境や人体の健康という側面から、持続可能な未来を考えるプロジェクト——。それがTire Industry Project (TIP) です。
関西に強い憧れがあるアロー君が、普段から関西弁の柴田さんにTIPの取り組みについて聞いていきます。



Tire Industry Project (TIP) ってどんなプロジェクト?

持続可能な未来を考え、タイヤのライフサイクルにおいて環境や健康に影響を与え得るものを特定し、調査・研究する、企業横断のプロジェクトです

TIPは、世界の企業約200社が参画して持続可能な開発を目指すWBCSD (World Business Council for Sustainable Development: 持続可能な開発のための世界経済人会議)の傘下であり、環境や健康に関わるタイヤの課題について調査・研究を行うプロジェクトです。ブリヂストンが中心メンバーとなって他社と連携し、2005年に発足されました。メンバーは世界を代表するタイヤメーカー11社からなり、現在、約10本のプログラムを推進しています。プログラムの進行は、ブリヂストン、ミシュラン、グッドイヤーの3社が共同議長会社としてリーダーシップを執り、他の8社と議論・合議しながら進めるという形を取っています。

Check!

TIPのミッションは“科学的根拠を示し、情報を開示する”こと。タイヤ業界共通の課題に対して、各地域のタイヤ協会とも連携しながら、科学的な調査を行います。もし、課題解決に向けた個別の研究開発が必要な場合などは、各企業が取り組んでいく必要があります。

独占禁止法の順守も徹底しています。TIPで扱うのは、環境や人体の健康といった、持続可能な社会に関わる問題のみ。それ以外は話さない上に、主要な会議には必ず法律家も同席し、監視の目を光らせています。

TIPでは約2年に1回、新たな提案を各社のCEOに上げる会議があります。そこでは11社のCEOが、各プログラムの進捗状況や成果も確認します。

取り組み

1 タイヤの摩耗粉塵の影響って?

Q そもそも擦り減ったタイヤの粉塵はどこに行くの?

A 大気中や土壌、河川にあることは確認しています。それが海に流れ着いているかは調査中です。

問題は、その摩耗粉塵が自然環境にどれほどの影響を与えるか。TIPでは、「大気中にどれだけの摩耗粉塵があるか」という“暴露性”と、「摩耗粉塵が生物にどのような影響を与えるか」という“毒性”の両面から調査を実施。世界各地の大気をサンプリングした結果「タイヤの摩耗粉塵の量は、全粉塵中のほぼ1%以下」という結果が得られました。また摩耗粉塵をさまざまな生物に与えて影響を調べたところ、問題となるような毒性はないことが判明しました。

- ✓ 国や地域が違っても、大気を漂う粉塵の中に摩耗粉塵が含まれる割合は、どこもほぼ1%以下という結果に。この測定方法もTIPで独自に開発し、国際標準のISOにも登録されました。
- ✓ 河川や海に流れたものがどれだけ生態系に影響があるかの調査は現在進めている段階。マイクロプラスチックのように、食物連鎖を経て人体への影響がある可能性も否定できないため、現在、調査方法の検討も含めて議論を進めています。

ココが
Point!



2 廃タイヤって、どう処理するのが一番環境にいいの？

Q 使用済みのタイヤは、世界ではどう処理されているの？

A 日本では焼却によるエネルギー回収、EUでは再資源化が中心です。

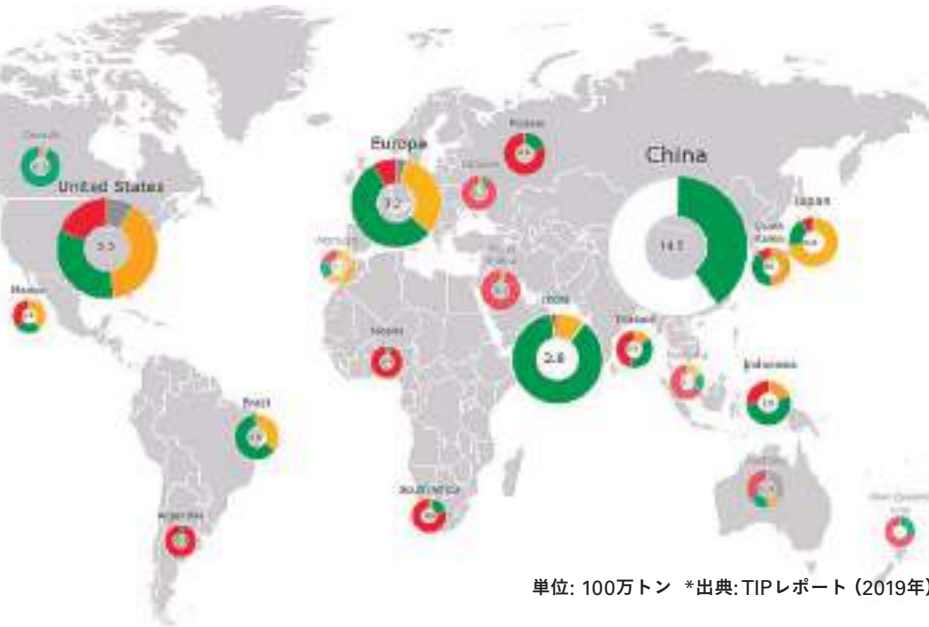
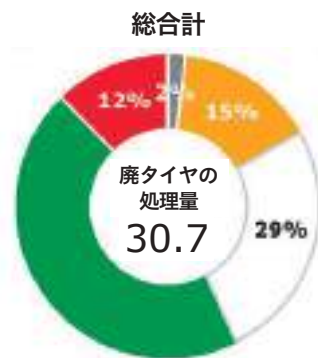
TIPではこれまで約10年をかけて、世界規模で廃タイヤの“発生率”と“回収率”、“リサイクル率”、“リサイクル方法”などを調査し、見える化を実施。日本ではおよそ7割強をエネルギー回収、EUでは約半分を再資源化していること、米国ではエネルギー回収と再資源化、そしてアスファルトへの再利用などで約8割を占めていることなどが明らかになりました。中国を除き、その見える化も完了しつつあります。次の段階では関連ステークホルダーとの対話の場を設け、意見収集し、廃タイヤ処理方法のあり方を検討していくことにしています。



廃タイヤとして回収したタイヤを細かく裁断し、燃料としてリサイクルする様子

世界各地域における処理方法の割合

- 再資源化
- アスファルトなど土木資材として再利用
- エネルギー回収
- 未回収、埋め立て、不明
- リサイクル方法不明（中国）



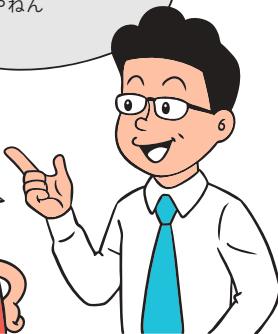
- ✓ 地域ごとに適したリサイクル方法もあるため、ステークホルダーと対話を重ね、今後の在り方を検討していくことが重要です。
- ✓ タイヤの使用量世界一の中国における廃タイヤに関するデータの詳細がまだよく分からないため、その点は今後の大きな課題。

ココが Point!



将来的には、タイヤリサイクルの新たな方法などが必要になる可能性もあり、道のりは長いけど、タイヤ業界としては着実に進めることが重要やねん

まずは現状を把握した上で、問題解決を図らんとアカンのかあ。先が長いなあ…



3 適正なサプライチェーンって？

Q タイヤに使う天然ゴムってどこで生産されているの？

A 主に東南アジアの天然ゴム農家の皆さんが生産しています。

現在、天然ゴムの世界の年間生産量は約1,300万トンで、その多くは東南アジアで生産されています。また、生産量の約85%は小農家によるもので、その数は600万軒以上とされています。さらに、年間生産量の内、およそ70%がタイヤに使用されるため、タイヤメーカー各社は天然ゴムのサプライチェーンに重大な責任を持っていると考えています。天然ゴムのサプライチェーンにおいては、児童労働や土地の収奪、森林破壊など、さまざまな社会的問題を抱えている可能性があります。それらの社会課題を解決するために、TIPがリーダーとなり、GPSNR (Global Platform for Sustainable Natural Rubber: 持続可能な天然ゴムのためのグローバルプラットフォーム) を立ち上げました。

これは、タイヤメーカー、カーメーカー、天然ゴム販売会社、天然ゴム生産者、NGO団体といった各ステークホルダーが集い、諸問題の解決に向けた話し合いを進めていく“場”です。これまでは、そういった諸問題について話し合う有効な場もありませんでしたが、現在は80以上の組織がこの場に参加して、課題解決に取り組んでいます。

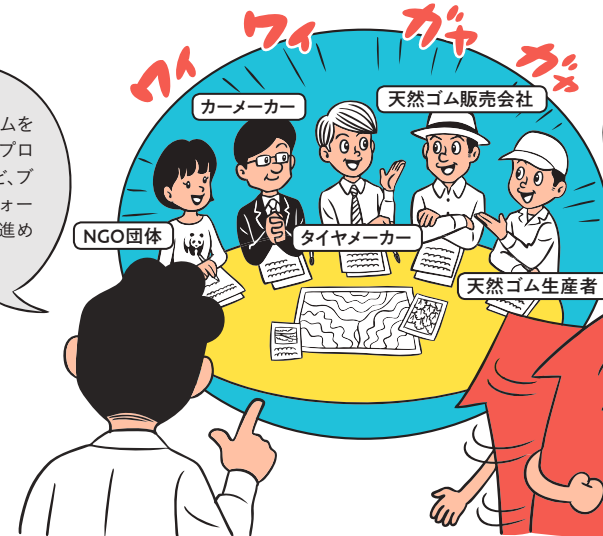


- ✓ TIPの総力を結集し、プラットフォームの設立までにかかった時間はわずか1年半。そのなかでも、ブリヂストンはリーダーとなりGPSNR立ち上げに大きく貢献しました。サステナブルなサプライチェーン確立のための大きな一歩を踏み出したのです。
- ✓ 今後、GPSNRでは、天然ゴムのトレーサビリティの向上、農家への天然ゴムの生産知識に関する教育や支援制度などのさまざまな課題に取り組んでいくことに。

ココが Point!



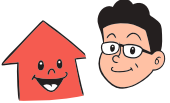
TIPとしてはプラットフォームを立ち上げた時点で、一旦プロジェクトが終了した形やけど、ブリヂストンとしてプラットフォームに参加して、取り組みを進めている最中なんやで



天然ゴムのサプライチェーンを構成する人たちみんなに関する持続性を見据えた取り組みなんですね

NGO法人のWWFジャパンさんも参加してるんだ!? 担当の古澤さんにお話を聞いてみよう!

特集2
持続可能な社会を目指して



GPSNRの立ち上げについて、
WWFジャパンの古澤さんに伺いました！

ブリヂストンの リーダーシップに期待！

WWFジャパン
自然保護室 森林グループ所属
古澤 千明さん



天然ゴムの持続可能な生産と責任ある利用に関して、森林保全の観点からWWFジャパンも関わってきました。WWF（World Wide Fund for Nature：世界自然保護基金）は世界約100カ国で活動していますが、インドネシアやミャンマーといった天然ゴム生産地のWWFから、本来守られるべき自然の森の減少についてのリスクが報告され、消費国として大きなインパクトのある日本のWWFも問題解決に取り組むことになったのです。

GPSNRが立ち上げられたのは、タイヤ業界の強いリーダーシップがあつてこそ。設立されてまだ1年半にもかかわらず、多種多様なステークホルダーが数多く参加しており、とても心強く感じています。一方で、具体的な解決策やイノベーションを生み出し、それを現場で実践していけるかは、これからの課題と言えるでしょう。決して容易なことではありませんが、

3 適正なサプライチェーンって？



慎重かつ丁寧な議論を重ねつつ、立場の異なるステークホルダーが協働し、かつスピード感をもって進めていくことが今後重要になるでしょう。

そのなかでブリヂストンさんに期待したいのが、さらにリーダーシップを発揮していくことです。日本のタイヤメーカーはブリヂストンさんの動きを常に注視しており、御社もそれについては肌で感じておられるでしょう。だからこそ、日本、そして世界のタイヤ業界の牽引役としてリーダーシップを発揮して、問題解決に取り組んでいただきたいと思います。

天然ゴム生産やサプライチェーンに関する課題は、国や地域によって異なる習慣や事情などにより、一筋縄で解決することは難しいでしょう。もちろんWWFも協力していきますので、ブリヂストンさんでもGPSNRにおける発信や、GPSNR内の議論と現場の取り組みとの連動、社内や消費者への発信と、さまざまな側面での活躍を期待しています。

最後に



社内のコミュニケーションで 活動を強化

(株)ブリヂストン
G経営戦略・企画本部 主幹専任部員
柴田 唯志さん



2007年からこのTIPの活動に関わっており、TIPでは共同議長を務めています。

TIPでは、発足以来14年にわたって、持続可能な社会を目指し、さまざまな課題の解決に取り組んできました。しかし、その活動内容については、社内外に充分認知されているとはいえない状況です。もっと多くの人にTIPの活動や発信内容を知っていただければ、さらに大きな取り組みにつながっていくはず。TIPでは数年前からステークホルダーに向けたコミュニケーションを加速しようとしています。

TIPが掲げている課題は、皆さんにも関係のある事柄です。例えば、タイヤ摩耗粉塵は、環境部門だけではなく、摩耗をどう抑制していくかなど、開発部門の方々にも関係のある課題だと思います。そこで皆さんにもぜひ、TIPの活動を知っていただき、自部署がどう関わっていけるかを考えていただきたいと思います。

今回、Arrowに記事が掲載されたことで、社内のコミュニケーションを向上させ、各部門のビジネスや役割につなげるきっかけになることを大いに期待しています。ご意見やアドバイスをどしどし寄せてほしいと考えていますので、よろしくお願いします。

ブリヂストンも、「モビリティ」「一人ひとりの生活」「環境」の3つを重点領域として持続可能な社会に貢献するさまざまな取り組みを行っているよ。TIPの活動もその一つだね。



特に環境に関しては、社会からの関心も高いですよ！



そう、ブリヂストンは、2050年を見据えて環境長期目標を定めていて、今年は2030年に向けて中期目標が示される予定なんですよ。



特集2

持続可能な社会を
目指して

ワークライフバランスの実現

今回の
テーマ

働き方改革が進む今、誰もが働きやすい職場づくりは、重要なテーマの一つ。このコーナーでは、さまざまな切り口からそのヒントを探っていきます。
今回は（株）ブリヂストンで働きながらプロボクサーデビューを果たした太田興一さんに、業務との両立ややりがいについて伺いました。

みんなでつくる、もっと多様な働き方

十人十色の ワークスタイル

働きながら、夢を追う



(株)ブリヂストン
タイヤ共通設計部 拡大設計ユニット
太田 興一さん

夢を叶える最後のチャンス

入社して9年目の2019年に、プロボクサーのライセンスを取得しプロデビューを果たしました。

ボクシングを始めたのは高校に入学した時。17歳でプロテストに合格したものの、試合に出場することはなくライセンスを失効させてしまいました。その後、ボクシングは社会人になっても趣味として続けていましたが、プロとして試合に出場できなかったことがずっと心残りでした。そこで、プロテスト参加上限である33歳の時に一念発起し、ライセンスの再取得に挑戦。2019年3月に無事合格することができました。そして同年8月にデビュー戦、2020年2月には2戦目と立て続けに試合に出場し、両試合ともに白星という結果で夢を叶えました。

仕事との両立

練習は毎日あり、退勤後にジムへ通っています。定時で退社するためには仕事を溜め込まないこと。そのため、何事も前倒しで取り掛かるようにしています。

また、練習内容は過酷で、ジムを出る頃にはヘトヘトです。翌日の仕事に支障をきたさないよう、帰ったらとにかく早く寝るようにしています。特に試合の前日には体重の計量があり、それに備えて1カ月前から減量が始まります。この時期は練習疲れに加え、食事制限で体力が奪われるため、集中力の低下が否めません。普段なら間違えないような簡単な作業でもミスする可能性があることを認識し、いつも以上に慎重に業務に当たるようにしています。

職場の皆さんは私の状況を受け入れ、応援してくださっています。定時退社や試合当日・前日の年休取得にも理解していただき、ほとんどストレスなく両立できてい

ます。プロボクサーとして活動できるのは紛れもなく職場の皆さんのおかげです。この恩を、仕事はもちろん試合に勝つことでも返していきたいです。

思い切って行動を

「やらない後悔よりやる後悔」。私と同じように、仕事と平行して何かやりたいことがある方にアドバイスするなら、この言葉を送りたいです。たとえ失敗したとしても、まずはやってみることが大事です。私も昨年、もし何も行動せずに34歳を迎えていたら、きっと後悔していたでしょう。

挑戦のための一歩を踏み出すには大変な勇気が必要ですが、やってみれば意外となんとかなるものです。その本気の覚悟を応援してくれる人は必ずいます。思い切って行動に移してみてください。

今年は、新人王トーナメントにエントリーしました。今年後も周りの人への感謝を忘れず、自分の夢に全力で挑み続けたいです。

2020年2月の試合。
東京・後樂園ホール
にて（右が太田さん）



未来の仲間に、会社の魅力を伝える

(株)ブリヂストンの採用センターでは、主にブリヂストン本社地区に配属されるスタッフの採用を担当しています。今回は事務系の定期採用を担当するお二人に、新卒採用の難しさと、そこにかける思いについて伺いました。

原田 三竿さんが入社して1年か。新卒採用の仕事を一通り経験してみて、どう？ こまめな報連相やフットワークの軽さ、相手を思いやるコミュニケーション、「こうしたい!」を形にする主体性など、1年目としては十分な力を身につけていると感じるけど。

三竿 いえ、まだまだです……。1年を通して、「企画立案からインターンシップやイベントで協力いただく社内の人材集め、各種イベントの実施、選考、内定者へのフォロー」という個別の活動については動きが見えてきましたが、さまざまなことが同時並行で動くので、つい目先のことばかりにとらわれがちになってしまいますね……。どの仕事もそうですが、全体のスケジュールを見ながら動くことの大切さを、改めて噛み締めています。

原田 三竿さんは責任感が強い分、他の人に何かをお願いするときも、可能なところまで自分でやろうとする傾向があるからね。もちろんその姿勢は重要なんだけど、チームで仕事をする以上、ある程度“頼る”姿勢も大事だよ。

三竿 そのあたりは原田さんを見習うようにしています。ケースごとに頼るべき

相手や相手の検討時間も考慮に入れて頼まないといけないですね。原田さんにはそういった社会人としての基礎の部分も教わっています。そして、やはり先を見て動く動くことは重要ですね……。

原田 そこはやっぱり経験かな。日々の業務を進めるなかで、社内のネットワークを広げて頼れる人を増やすとともに、自分もスキルを高めて成長していけばいいと思うよ。

三竿 ありがとうございます。あと、普段言えないんですけど、企画に煮詰まったりして変なテンションになってしまったときも、一緒に付き合ってくれてありがとうございます（笑）。

原田 そういうこと、あるよね（笑）。売り手優位が続く採用市場でも、ブリヂストンはブランド力の高さや従業員の皆さんの頑張りのおかげで、学生からの注目度が高い。でも、ブリヂストンが求める自主性の高い学生に振り向いてもらうには、こちらからもしっかりアプローチして、会社の魅力を伝える必要がある。そのためにはいろんな企画を練らないといけないからね。

三竿 学生と対面する機会が減ったり、来年から経団連の指標が変わって

採用シーズンが早まったりと、採用市場でもさまざまな変化が起きています。そういった変化に適応しながら、これからのブリヂストンを担う仲間づくりに貢献していきたいです。

原田 それには従業員の皆さんの声を学生に伝えることが不可欠だ。学生にとって“当社を知るきっかけ”は僕たち採用のメンバーだけど、“当社を好きになるきっかけ”は従業員の生の声だからね。入社して1年の三竿さんは学生と目線が近いから、彼ら・彼女らがどんなところに注目するのもか理解しやすいはず。その視点を生かして、三竿さんにはぜひ会社と学生を結ぶ懸け橋になってほしいな。

三竿 学生には双方向かつ立体的なコミュニケーションでブリヂストングループの魅力をさまざまな角度から伝えること、そして社内の方とは人事として深い関係を構築していくことが重要ですね。頑張ります！

原田 社内との関係強化には、協力してくれた皆さんへのフィードバックも重要だね。一緒にブリヂストンの採用活動をさらに進化させていこう！



「いつでも学生思いな原田さん。当社の魅力を感じてもらうにはどうしたらいいか、常に相手目線で考えているところも尊敬しています」と、三竿さん



「採用イベントの企画には、学生の視点を持つことが不可欠。その際には社会人2年目の三竿さんの経験や考え方が新しい切り口となることも」と原田さん



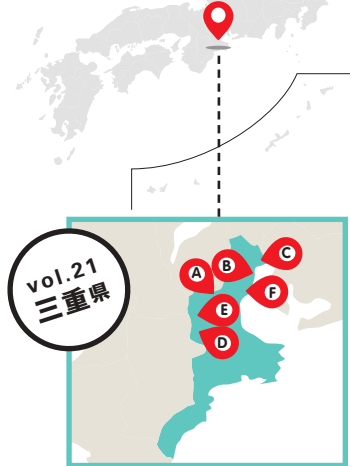
採用イベントの様子。「他部署の皆さんにはさまざまなイベントでお力を借りていて、いつも大変感謝しています。今後は内定者の声も皆さんに届けていきたいです」



“会社と学生を結ぶ懸け橋になってほしい”

“皆さんの声を学生に届け、ブリヂストンの魅力を伝えます!”

師匠 (株)ブリヂストン 採用センター 採用ユニット 原田 崇志 さん (2018年中途入社)		弟子 (株)ブリヂストン 採用センター 採用ユニット 三竿 佑莉 さん (2019年入社)	
	コミュニケーションが上手で、動きがいい!	相手の第一印象	ディズニーのキャストさん (内定者時代、イベント参加時に感じました)
	デスク回りの整理整頓を頑張ろう!	相手に直してほしいところ	特にはないです!
	いつでも相手を気遣うところ	相手の尊敬するところ	相手目線なところ、家族を大切にされているところ
	人懐こい猫	相手を動物に例えると	ゴールデンレトリバー
	どこに行っても通用するビジネススキルを身につけてほしい。	相手に望むこと	引き続きご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします!



今回は、「おっとりしている」「柔軟性がある」「世話焼きだ」「パンは自家製だ*」が県民の特徴といわれる三重県をご紹介! 事業所独自の特徴も1つ加えてレーダーチャートにし、どのくらい当てはまるかを回答いただきました!

※三重県は「ホームベーカリーの普及率」全国2位です(平成26年全国消費実態調査)

県民性に当てはまることを推奨するものではありません。気軽にお楽しみください。
(参考資料:「県民性の人間学」祖父江 孝男・ちくま文庫)



ブリヂストンサイクル (株)	住 所 三重県伊賀市中柘植 1178
中日本物流センター	従業員数 43人

紹介者

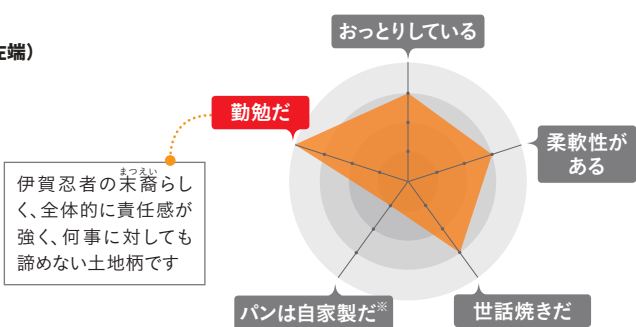
センター長の若旅 正樹さん(後列左端)

事業・業務内容

自転車の組立および配送

今後の目標

作業品質向上を通じたブリヂストンのブランド価値向上への貢献



ブリヂストンタイヤサービス西日本 (株)	住 所 三重県四日市市大井の川町3-1-1
タイヤサービス四日市店	従業員数 7人

紹介者

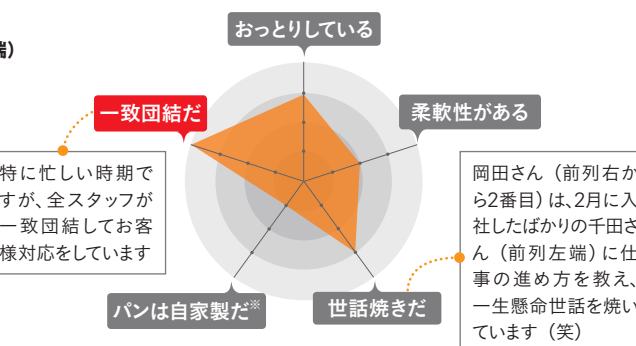
セールスの中林 富和さん(後列右端)

事業・業務内容

タイヤおよび関連用品の販売、タイヤメンテナンス・出張サービス

今後の目標

高品質の作業と最適な提案で全てのお客様に安心と安全を提供し、信頼され必要とされる店舗を目指していきます。



ブリヂストンタイヤジャパン (株) 三重カンパニー	住 所 三重県桑名市大字和泉八ノ割373-2
桑名営業所	従業員数 7人

紹介者

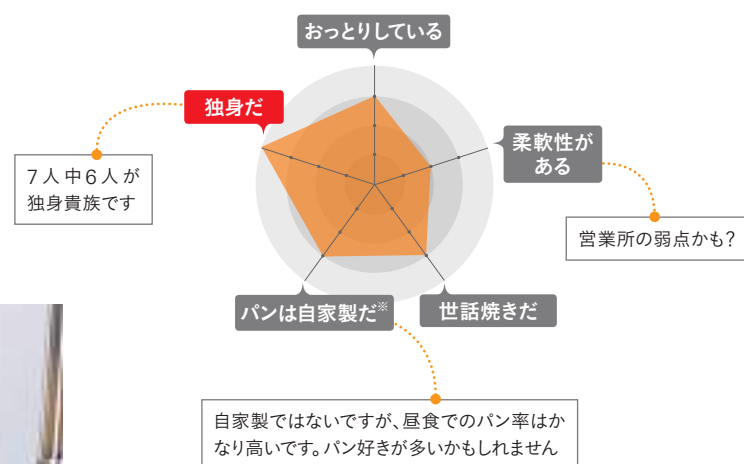
所長の藤嶋 克行さん(後列中央)

事業・業務内容

タイヤおよび自動車用品の卸販売

今後の目標

20代が3人在籍する、若い営業所です。時代の流れや環境の変化に対してもスピードを上げ、一致団結で仕事に取り組んでいきます。



〈通信員〉
ブリヂストンタイヤジャパン (株) 三重
カンパニー 販売業務部 担当課長
池村 英二さん

休日はドライブによく出かけます。三重県は風光明媚で見どころがたくさんありますので、ぜひお越しください。



ブリヂストンケミテック (株)	住 所 三重県名張市西原町2350
名張製造所	従業員数 485人

紹介者

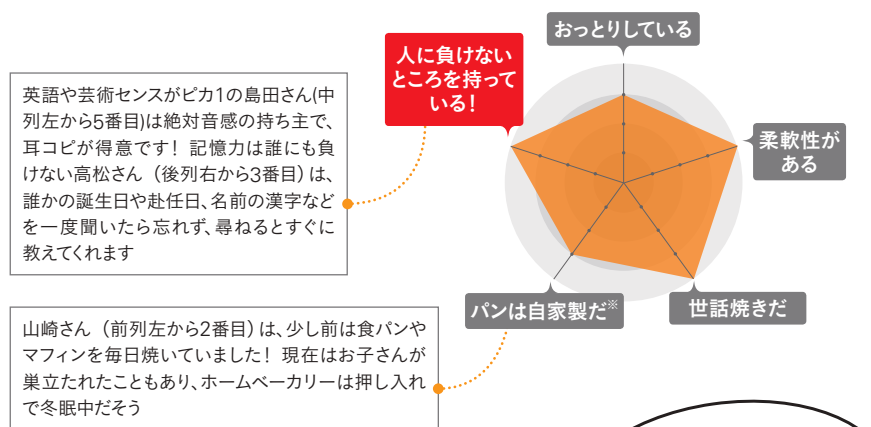
E/M製造課長の九谷 信教さん(中列左から4番目)

事業・業務内容

ポリウレタンフォームの製造

今後の目標

ブリヂストンケミテックでは長きにわたり障がい者雇用に取り組んでおり、今回ご紹介するプレセット工程でも多くの仲間が活躍しています。いつも明るく元気があふれる工程で、個々の個性も強烈ですが、この元気を継続し、確実な作業で良い製品を納めています。



〈通信員〉
ブリヂストンケミテック (株)
総務部 総務課
西岡 崇子さん

ブリヂストンケミテック (BSCT) は、来年9月に創立50周年を迎えます。同じ年に三重とこわか国体も開催される貴重な1年となりますので、BSCTを盛り上げていけるよう頑張ります。



プレセット工程の皆さん

E	ブリヂストン化成品（株）	住 所 三重県伊賀市予野3012-10
	三重工場	従業員数 63人

紹介者

業務課の蒲池 恵里さん(最前列左から2番目)

事業・業務内容

キッチンスポンジや寝具用マットレスなどの、ウレタン製品の加工業務

今後の目標

安全・安心な職場を維持し、高品質の製品でお客様に貢献できる工場を目指します。

どちらかというとせっかちな人が多いです

花粉症の人には地獄だ

三重県はスギが多く、花粉症の人は時期になると毎日苦痛。その割に工場では三重県出身者で花粉症の人は少なく、愛知県出身の長坂工場長が花粉症なのが不思議で仕方ないです

おっとりしている

柔軟性がある

パンは自家製だ*

世話焼きだ

スギ花粉にも負けず
高品質の製品づくりを！



F	ブリヂストンリテールジャパン（株）中部支社	住 所 三重県鈴鹿市神戸寺家町281-1
	タイヤ館 スズカ	従業員数 7人

紹介者

店長の中村 恵二さん(前列中央)

事業・業務内容

タイヤ・ホイール・自動車用品の販売、取り付け

今後の目標

地域の皆様に愛される店づくりと、スタッフみんなが楽しめる職場を目指します！

おっとりしている

個性が強すぎだ

個性は強いが、最高のバランスを保っています！（笑）

柔軟性がある

主任の品田さん（前列右端）はお母さんの存在です

パンは自家製だ*

世話焼きだ

個性派ぞろいの
ONE TEAM！



グループ従業員の皆さんに、県内のお勧め観光スポット&グルメを教えてください！

伊賀上野城



ブリヂストンサイクル（株）
中日本物流センター
若旅さん

工場夜景



四日市市は石油化学コンビナートで栄えており、工場夜景の聖地としても有名です。

ブリヂストンタイヤサービス西日本（株）
タイヤサービス四日市店
中林さん

石神さん



神明神社の境内にあるパワースポットです。

ブリヂストンリテールジャパン（株）
中部支社 タイヤ館 スズカ
中村さん



Voices お客さまの声

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介します。

さらにお客様のご期待に応えられるよう、貴重な情報源として役立てていただければ幸いです。



お客様の声の全文はWeb版Arrowでご覧ください！
（ユーザー名：bridgestone パスワード：arrow）

- ❤️ お礼・お褒めの言葉
- ❓ お問い合わせ
- ★ ご指摘・ご要望

お問い合わせ

ゴルフボール「TOUR B X/XS」、 「TOUR B JGR」の飛びにびっくり

友人が持っていたTOUR B XSとJGRを打ったらすごく飛びました。普段は他社のボールを使っていて、ブリヂストンのボールは初めて使用しましたが驚いています。自分のヘッドスピードは41m/s前後ですが、どのような性能のボールなのでしょうか？ （東京都・男性）

ブリヂストンの対応

From ブリヂストンスポーツ（株）お客様相談グループ

TOUR B X/XSとJGRの商品特長と、ボールの硬さとヘッドスピード、飛びの要因についてご説明。「飛びの要因はお客様のヘッドスピードやスイングスタイルがそれぞれのボールとマッチしていたのではないかと回答しました（お客様からは「これからはブリヂストンのボールを使うことにします」とお話がありました）。

お礼・お褒めの言葉

TO：タイヤ館葉山

とても雰囲気の良いお店でした

タイヤ館葉山に初めて行きました。対応していただいたスタッフの方には本当にお世話になりました。サイズの合うタイヤが店頭になかったのですが、わざわざ取りに行ってくいただき、その日の内に取り付けが完了しました。

他にも店員さんが何人かいましたが、誰に話し掛けてもニコニコ答えていただけて、家庭的な雰囲気とても幸せな気持ちで作業終了まで待っていました。自宅は三浦市ですが、この店舗で本当に良かったと思いました。タイヤ館葉山大変オススメです。タイヤ交換する方がいらっしゃれば一度立ち寄ってみてください。本当に、皆さんありがとうございます。（神奈川県・男性）

ご指摘・ご要望

新商品の情報を事前に知りたかった

昨年12月20日にミスタータイヤマンでPOTENZA RE-71Rを購入しましたが、1月に開催されたオートサロンでRE-71RSが発売されることを知りました*。ミスタータイヤマンからはRE-71Rの購入時に何も案内がありませんでした。新商品の発売直前なのに、販売店は発売情報を知らないものなのでしょうか。（東京都・男性）

ブリヂストンの対応

From（株）ブリヂストン お客様相談室

販売店での新商品情報の入手状況は分かりかねるのですが、一般的には発売直前まで新商品情報は伝えられず、ブリヂストン お客様相談室でも正式なニュースリリース発表後のご案内となります。発表前にご案内できる情報としては、過去の新商品の発売サイクルをご紹介することはできますが、必ずしもそのサイクルで発売されるとは限りません。何とぞご了承のほど、お願いいたします。
※POTENZA RE-71RSは、2020年1月10日に東京オートサロン2020およびニュースリリースで発売を発表しています。

お礼・お褒めの言葉

生涯スポーツを楽しむきっかけとなりました

従来のネオコットロードからアンカーへの乗り換えですが、直進安定性、操縦安定性が抜群で、全く違和感なくすぐに慣れることができました。振動吸収性も快適で長距離、長時間乗っても疲れず（今のところ、まだ1日50～70km程度ですが）、もっと長距離を楽しめるのではと感じています。乗り味だけでなく、期待通りの超軽量に仕上がっており、輪行も楽チンではないかと思います。休日が待ち遠しいです。少年時代から親しんできたスポーツサイクルを、還暦を迎え、生涯スポーツとして、戻り新参として楽しむきっかけを与えていただいたことに感謝です。（埼玉県・男性）

*公共交通機関を使用して自転車を運ぶこと



2020.2.26-3.1 2020 UCITラック世界選手権で梶原選手が金メダル・脇本選手が銀メダル獲得

自転車

ドイツ・ベルリンベロドロームで開催された「2020 UCITラック世界選手権大会（自転車トラック競技の世界選手権）」で、チームブリヂストン所属選手を含む日本代表選手がブリヂストンの自転車で活躍しました。

女子オムニウムでは、ブリヂストン機材サポートアスリートの梶原悠未選手（筑波大学所属）が優勝。同競技での優勝は日本人初で、世界選手権エリートカテゴリーでの日本人の金メダル獲得も33年ぶりの快挙となりました。



梶原選手（中央）



脇本選手（左端）



男子チームバシュートで日本記録を樹立したTEAM BRIDGESTONE Cyclingの沢田選手、窪木選手、今村選手、近谷選手（左から）

また、TEAM BRIDGESTONE Cyclingの脇本雄太選手が男子ケイリンで銀メダルを獲得しました。

さらに、日本ナショナルチームとして出場したTEAM BRIDGESTONE Cycling 所属の4名が男子チームバシュートで、ブリヂストン機材サポートアスリートの小林優香選手（ドリームシーカー所属）が女子スプリントで日本記録を樹立しています。

2020年3月 米国テネシー州中部の竜巻被害に対する寄付を決定

ブリヂストン アメリカス（BSAM）

ブリヂストングループは、3月2日から3日にかけて米国テネシー州中部で発生した竜巻被害に対し、10万ドル（約1070万円）の寄付を行うことを決定しました。アメリカ赤十字に7万5千ドル、およびテネシー中部コミュニティ基金に2万5千ドルをそれぞれ寄付し、大規模な竜巻被害からの復興支援に役立てる予定です。寄付金は、（株）ブリヂストンおよびブリヂストンアメリカス・トラストファンドより出資されます。



被害を受けたテネシー州の様子

2020.3.3 駐日ベルギー大使が来社

（株）ブリヂストン 海外業務部

ロクサンヌ・ドゥ・ビルデルリング駐日ベルギー大使が（株）ブリヂストン本社を訪問され、グローバルCEOの津谷さん（当時）、副会長の東さんらと面談されました。

ベルギー首都のブリュッセルには、欧州・ロシア・中近東・インド・アフリカ事業の本社であるブリヂストン ヨーロッパがあるほか、同国内にはリトレッド用部材生産工場などもあり、計500人以上の従業員が働いています。ドゥ・ビルデルリング大使は、2019年9月に着任され、ベルギーと縁のある代表的な日系企業の一つとして、ブリヂストンを表敬訪問されました。面談では終始和やかな雰囲気のもと、双方が今後もよきパートナーであり続けることを確認しました。



ドゥ・ビルデルリング大使（中央）を囲んで

2020.2.27 二酸化炭素削減の取り組みで ホンダ社から表彰

ブリヂストン タイヤインドネシア（BSIN）

BSINは、ピーティー ホンダプロスペクトモーター社（以下、ホンダ社）が主催するサプライヤー会議2020において、「Appreciation of Achievement Award」を受賞しました。この表彰はホンダ社が2015年に始めたもので、サプライチェーンのあらゆる過程で積極的に改善に取り組んだ企業の取り組みを表彰しています。

BSINは、ごみの分別方法の改善や、気流を自動制御できるエアコンプレッサーの導入などに取り組んできました。そうした取り組みは事業で生み出される二酸化炭素の削減に貢献するとともに、ホンダ社の掲げる環境ビジョンとも合致しており、今回の表彰はBSINの取り組みが評価されたことによるものです。



BSINのマネージング・ダイレクター Mukiat Sutiknoさん（写真右）

2020.3.2 「健康経営優良法人」認定を取得

ブリヂストンソフトウェア（株）（BSW）

BSWは、企業全体で健康づくりに取り組み、成果を上げた企業として、「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を4年連続で取得しました。これは、経済産業省、厚生労働省、日本健康会議が主催するもので、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良である企業を認定するものです。

BSWでは、ウォーキングなどの運動イベントや、女性従業員のための乳がん予防セミナー、感染症理解のためのeラーニング、禁煙推奨運動などを実施し、さまざまなアプローチで健康づくりを推進しています。



従業員向けに実施したスポーツイベントの様子

2020.3.5 タイで「最も売れたタイヤ賞」を 22年連続で受賞

ブリヂストン セールス タイランド（BSTL）

BSTLは、タイで「最も売れたタイヤ賞2020」を受賞しました。これは22年連続となる快挙です。タイ・バンコクで開かれた「タイランド・カー・オブ・ザ・イヤー」の中で授賞式が行われ、BSTLマーケティング戦略マネージャーであるSamith Saengfaiさんが代表として出席しました。

この表彰は、BSTLがタイの乗用車用タイヤ業界のマーケットリーダーとして成功し、市場にお届けしてきた断トツの商品・サービスが認められたものです。今後も、お客様に安全・安心をお届けするために、品質の高い商品を生み出し続けていきます。



授賞式に登壇したSamithさん（右）

2020.3.9 女性の活躍推進に優れた企業として 「なでしこ銘柄」に7年連続で選定

（株）ブリヂストン

（株）ブリヂストンは、女性の活躍推進に優れた企業を紹介する2019年度「なでしこ銘柄」に選定されました。今回で、2013年度から7年連続での選定となります。

「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所（東証）が共同で選定するもので、2019年度は東証全上場企業約3,600社の中から、女性活躍推進に関する「経営戦略への組み込み」や「推進体制の構築」といった7つの項目を点数化して選定されました。



2020.3.23

NEWS

タイの新品ACR工場で初荷式を開催

ブリヂストン スペシャルティタイヤ マニュファクチャリング タイランド (BSTMT)

タイ・ラヨーン県にあるBSTMTで、生産した新品航空機用ラジアルタイヤ（新品ACR）を初めてお客様へお届けするのを記念して、初荷式を行いました。昨年5月の建設機械・鉱山車両用ラジアルタイヤ（ORR）に続き、今回は新品ACRの初荷式になります。

BSTMTで生産した新品ACRは今後、全世界のボーイング機やエアバス機に装着されていきます。ORRと同様に、「安全・防災・環境・品質 全てにおけるトラブルを未然防止する工場」をコンセプトに入念な準備の下、立ち上げを行い、この日を迎えることができました。

世界各地のお客様に、タイから高品質・高付加価値のタイヤをお届けできるよう、SEQCD[®]全てにおいて高い成果を出し続ける「生まれの良い工場」を目指して、従業員一同まい進していきます。

※安全・防災・環境・品質・コスト・納期



2020.4.9

NEWS

タイの航空機用リトレッドタイヤ工場で初荷式を開催

ブリヂストン エアクラフト タイヤ マニュファクチャリング(タイランド) (BAMT)

タイ・チョンブリ県にある航空機用リトレッドタイヤ（バイアス・ラジアル）の製造会社BAMTで、生産したタイヤを初めてお客様へお届けするのを記念して、初荷式を執り行いました。

BAMTは、新しく立ち上げる航空機用リトレッドタイヤ工場として、過去の災害を踏まえて品質経営（安全・防災・環境・品質）の基盤を盤石なものとし、「生まれの良い」未然防止型の工場運営体制を確立して、この日を迎えることができました。

高品質・高付加価値のタイヤを安定的にお客様にお届けすることで大需要地となるアジアでの事業拡大を支え、タイ国内ならびにアジア地域社会に貢献することを目指して、従業員一同、まい進していきます。



2020.3.31

NEWS

公益財団法人日本アイスホッケー連盟とオフィシャルパートナー契約を継続

(株)ブリヂストン

(株)ブリヂストンは、公益財団法人日本アイスホッケー連盟（JHIF）とのオフィシャルパートナー契約を継続します。

ブリヂストンは、「アイスホッケーの普及振興を図り、国民の心身の健全な発展に寄与する」というミッションを掲げるJHIFを2012年より支援しており、今回新たに2020年4月1日から2021年3月31日までの1年間の期間でオフィシャルパートナー契約を継続しました。この契約に基づき、男女日本代表チームを引き続きサポートしていきます。



アイスホッケー女子日本代表チーム「SMILE JAPAN（スマイルジャパン）」

2020.4.17

表彰

防振ゴム製品「アクティブトルクロッド」が「日本機械学会賞（技術）」を受賞

(株)ブリヂストン

(株)ブリヂストン、日産自動車（株）およびシンフォニアテクノロジー（株）が共同開発した「アクティブトルクロッド」が、一般社団法人日本機械学会より「2019年度日本機械学会賞（技術）」を受賞しました。

「アクティブトルクロッド」は、自動車の車体とエンジンをつなぎ止めて車体に伝わるエンジン振動を遮断する防振ゴム製品で、優れた車内の静粛性と居住性の実現に貢献します。日産自動車が2018年に北米市場で発売した車両に採用され、車両の快適性向上に大きく寄与しています。



「アクティブトルクロッド」イメージ図

ありがとうございます

vol. 56

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介します。

早 いもので私も入社32年目になりましたが、入社1年～2年目の頃は仕事にも不慣れだったため、なかなか自分のペースをつかめず悩んだ時期がありました。その時に同じ営業所におられた先輩の草野さんは、いつも私の顔を気にかけて、「どないしたんや？」と優しく声をかけてくださいました。たくさんのことを相談させていただき、どんなときも草野さんの的確なアドバイスで気持ちが“すっきり！”したことが記憶に強く残っています。その時のことは現在私自身が部下に指導する際にも役立てています。

今もたまにお会いすると、当時の懐かしい話を必ずしてしまいます。今後も良き先輩として、いろいろご指導をお願いします。

「どないしたんや？」の言葉に救われました



ブリヂストンタイヤ
リサイクルセンター大阪（株）
営業本部 部長
仲野 元庸さん から



ブリヂストンタイヤジャパン（株）
大阪カンパニー
販売業務部長
草野 晃宏さん へ

Thank
You!

地域とのつながりを大切にしていきます



(株)ブリヂストン
化工品事業戦略・新事業開発部
化工品マーケティング戦略企画・
新事業開発ユニット
吉岡 美奈さん から



(株)ブリヂストン 関工場長
原 秀一さん へ

Thank
You!

ご意見紹介

特集「変わる、小平」について

■ TC誕生の背景も知れましたし、4つの施設の概要も分かりやすかったです。ブリヂストンイノベーションギャラリーは、気軽に従業員でも入れるのか知りたいところです。各施設が今後どのように運用されていくようになるのか、定期的にお知らせしていただけると嬉しいです。また、各事業所の成り立ち、誕生の背景は自分の所属している地区のものしか知らない方も多いのではないかと思います。各工場、事業所の生い立ちにも興味が出てきました。（ペンネーム：Nojikaさん）

■ 未来のブリヂストンをイメージできる、一般の方にブリヂストンを知ってもらう施設にしてほしいです。できたらぜひ行きたいです。完成イメージ図の天井に施設の文字が入っていましたが、ぜひ実現してほしい。空から、グーグルアースで見られ、いい感じじゃないですか。（ペンネーム：7788さん）

編集部より
ブリヂストンイノベーションギャラリーは、旧ブリヂストンTODAYと同様に社内外の方が自由に訪れられる空間となる予定です。詳しい開館日時などは今後の公式発表をお待ちください！

編集部からのお知らせ

新型コロナウイルスの急速な感染拡大をうけて、Arrowダイジェスト版の発行回数を削減することにいたしました。次号のダイジェスト版は7月、次々号は10月に発行予定です。日頃ダイジェスト版をご愛読いただいている皆様にはご不便をおかけしますが、何とぞご了承の程、よろしくお願いいたします。なお、Web版Arrowは今後も積極的に更新していきますので、ご利用いただけますと幸いです。今後ともArrowをよろしくお願いいたします。（編集部一同）

Present!

読者プレゼント!

限定復刻！
アロー君
オリジナル手ぬぐい
Arrow 2019年5・6月号の読者プレゼントで
使用した手ぬぐいです。

各20名様

※2種類のうちどちらか1つをお送りします。デザインは
お選びいただけません

タイヤパターン柄
手ぬぐい
POTENZA RE-71RS
のパターンデザインです。

20名様





感染症対策で私たちができること

昨年12月に中国の湖北省武漢市で発生した新型肺炎は、瞬く間に世界中に広がり、日本国内でも経済が低迷したり、多くのイベントが中止・延期になったりと混乱や不安に包まれました。日々の報道で情報は十分お持ちだと思いますが、ウイルスと予防についてもう一度おさらいしてみましょう。

私が解説します！

ブリヂストン健康保険組合
保健師
小川佳世さん



コロナウイルスとはそもそも何か？

人に感染する「コロナウイルス」は7種類見つかっており、そのうち4種類は普通の風邪の原因であり多くは軽症です。残りの3種類のうち2種類が2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群（SARS）」と2012年以降発生している「中東呼吸器症候群

（MERS）」、そして残りの1種類が、現在感染が拡大している「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）」です。新型コロナウイルスはまだ分からないことが多いですが、アルコール消毒などで感染力を失うことが知られています。

感染予防を、改めて考えよう

手洗いやアルコール消毒、咳エチケットと、皆さん個々に感染予防に取り組んでいらっしゃると思います。でもその予防法、ちゃんと正しくできていますか？



1 手洗い

「石けんと流水を使って20秒！ その後しっかり乾燥」が大切。石けんと流水がない場合には、「手指消毒用のアルコールで消毒」も有効です。石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

正しい手の洗い方

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲を伸ばすようにこすります。

3



指先・爪の間に念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗います。

6



手首も忘れずに洗います。

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

2 マスクの使い方

- ・装着する前に必ず石けんで手洗い
- ・口と鼻を覆い、スキマをなくす
- ・マスクの表面は触らない。もし触ってしまったら、その都度石けんで手洗い（もしくはアルコール消毒）
- ・外すときはゴムひも部分を持ち、ふた付きゴミ箱へ捨てる。外した後は石けんで手洗いを！



3 禁煙で重症化予防できるかも？！

喫煙者は非喫煙者と比べて、重症化するリスクが2.2倍、死亡率が3.2倍という報告もあります。4月から法律が改正され、ブリヂストングループでも原則屋内禁煙、そして就業時間内禁煙が始まりました。今一度タバコについて考え、自分の体を守る行動を始めてみませんか。

日常生活で心掛けたいこと

✓ 環境の変化によるストレス（コロナ疲れ）を解消しましょう

普段と違う環境を強いられるとイライラしたり、不安を感じたりすることがありますが、これは自然な反応です。タバコやお酒等に頼らず、周囲の信頼できる人に話をすることで、気持ちが楽になります。



✓ 正しい情報をとりましょう

過剰なマスコミ報道を見聞きする時間を減らすことで、不安を抑えられます。デマ情報に振り回されず、WHOや厚生労働省などから正しい情報をとるようにしましょう。

✓ 生活習慣に気を付けて

外出の機会が減って生活が乱れ、免疫力が落ちると、感染症にかかるリスクが高くなります。しっかり食べて（栄養）しっかり寝る（休息）、部屋の掃除に精を出すことで体を動かす（活動）など、生活習慣に気を付けてください。十分な栄養と睡眠を確保することで、新型コロナウイルスに対する免疫力を高めていきましょう。テレワークなどによりかえって長時間労働に陥らないよう、十分注意してください。

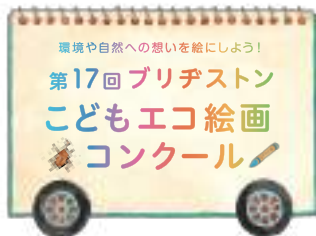


新型コロナウイルスは長期化するという話も出ています。自粛が続くと心身共に疲れがたまることもあります。が、こういう時こそセルフコントロールが大切です。一人ひとりが元気でいられるよう意識していきましょう！

WHO新型コロナウイルス感染症（COVID-19）一般向け特設ページはこちら ✓

https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/news/COVID19_specialpage_public





第17回ブリヂストン こどもエコ絵画コンクール 受賞作品を発表!

4月6日、「第17回ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール」の入賞作品を発表しました! 今回のテーマは「みらいにつたえたい しぜん」で、子どもたちが日常や旅先で触れ合った自然を題材にした、自由で個性あふれる作品を募集しました。全国各地から**52,685点**の応募をいただき、その中から公正かつ厳正な審査の結果、ブリヂストン大賞5点をはじめとする100点の入賞作品を選出しました。ブリヂストン大賞に選ばれたのは以下の5点です。



大賞作品



「おぼえているかな、ぼくのこと…」
大木 陽道さん



「よみがえる森」
伊藤 勇人さん



「初夏の草花」
岩瀧 藍里さん



「てんとう虫になった、わたし」
坪根 世奈さん



「森の木」
豊野 真弓さん

Q 展示情報 入賞作品はここで見られます!



3月31日～
7月下旬まで(予定)

ミュージアムタワー京橋
(東京都)1階にて入賞
100作品を展示中

5月～10月末まで

東京駅から晴海、有明間
を運行する都営バス(都
05路線)を、受賞作品で
ラッピング



ブリヂストンこどもエコ絵画コンクールとは

ブリヂストングループは、2003年から毎年「ブリヂストンこどもエコ絵画コンクール」を開催してきました。子どもたちの目を通して描かれた作品を通じて、大人も含めた多くの人々に環境・自然の大切さを伝えていきたいと考えています。第17回までに寄せられた応募作品数は、延べ



審査の様子。写真左より、
(株)ブリヂストン 常務執行役員
磯部さん、グローバルCOO 江藤さん

527,362点。今後も、子どもたちが楽しみながら、環境意識を醸成することができる活動に取り組んでいきます。

受賞作品のさらに詳しい情報はWebサイトをご覧ください!

https://www.bridgestone.co.jp/csr/soc/eco_project/ecokaiga/17th/winner.html

